

飛騨に大学がやってきた!!

オープンカレッジ

受講生募集

in 飛騨 2021

【主催】 飛騨・世界生活文化センター活用推進協議会
(岐阜県・高山市・飛騨市・下呂市・白川村)

【協力】 一般財団法人 飛騨高山大学連携センター
【後援】 岐阜県教育委員会

1



岐阜大学
GIFU UNIVERSITY

開講日 9/4 (土)

岐阜県の鳥“ライチョウ”の生態と保全

楠田 哲士 (岐阜大学 応用生物科学部 准教授)

- ①9/4 (土) 13:00 ~ 14:30 「特別天然記念物ライチョウの生態と危機」
- ②9/4 (土) 14:40 ~ 16:10 「絶滅危惧種ライチョウの保全と動物園」

豊かな飛騨の象徴でもあるライチョウは、日本で絶滅が危ぶまれています。2012年に環境省の保護増殖事業計画が発表され、生息地での保全活動に加えて、2015年には卵を採集して動物園での生息域外保全も開始されました。2020年からは野生復帰も試みられています。ライチョウの保全活動は乗鞍岳を主な拠点としながら急展開し、多くの成果が出ています。飛騨の宝ライチョウに対する日本全体の現状を理解し、考え、広げる一助としていただきたく、様々な取り組みを広く紹介します。

2



TAMA UNIVERSITY
多摩大学

開講日 9/4 (土)

地政学情報から見る世界と時代の潮流

金 美徳 (多摩大学 経営情報学部 教授)

- ①9/4 (土) 13:00 ~ 14:30 「地政学情報から見る世界と時代の潮流：前半」
- ②9/4 (土) 14:40 ~ 16:10 「地政学情報から見る世界と時代の潮流：後半」

今、世界は、「ポストコロナの時代」と「VUCA(ブーカ;変動性・不確実性・複雑性・曖昧性)の時代」を暗中模索しながら前へ進もうとしています。また、米中対立・増加する国際紛争・崩れる国際秩序など「新しい地政学の時代」と立ち向かっています。このような不透明性が高く、視界不良の時代には、これまで以上に「世界で何が起きているか」をより広く把握かつ深く洞察する必要があります。そのためには、「地政学情報」が重要です。本講座では、日本を取り巻く国際関係(日本・韓国・北朝鮮・中国・ロシア・米国)の視点から世界と時代の潮流を見極めます。また、「新しい地政学の時代」の日本の役割について受講者と共に考えます。

会場 / 飛騨・世界生活文化センター
(岐阜県高山市千島町900-1)

受講料 / 1 講座 2,000円

定員 / 1 講座 20名

【お問合せ】

飛騨・世界生活文化センター 指定管理者 飛騨コンソーシアム
〒506-0032 岐阜県高山市千島町 900-1 TEL.0577-37-6111
休館日 / 毎週火曜日 (祝日の場合は翌平日)

郵便はがき

お手数ですが
63円切手を
お貼り下さい

5 0 6 0 0 3 2

岐阜県高山市千島町900-1

飛騨・世界生活文化センター
オープンカレッジ係 行

オープンカレッジ in 飛騨 2021
申込書

各講座の申込締切日(2週間前)までに郵送(切手貼付)、もしくはご持参ください。
申込締切日以前でも定員に達した講座は締切とさせていただきます。

3

東京都市大学

TOKYO CITY UNIVERSITY

開講日 9/5 (日)

持続可能な都市と集客学 - 世界遺産と観光、クリエイティブシティ、SDGsの観点から

川口 和英 (東京都市大学 都市生活学部 教授)

①9/5 (日) 13:00 ~ 14:30 「持続可能な都市と集客学 - 世界遺産と観光、クリエイティブシティ、SDGsの観点から：前半」

②9/5 (日) 14:40 ~ 16:10 「持続可能な都市と集客学 - 世界遺産と観光、クリエイティブシティ、SDGsの観点から：後半」

「集客学」は、人をとりまく空間と都市との関係、魅力ある都市はどのようにするのか、なぜ人がその空間に惹きつけられるのかなど、都市デザイン、社会資本のありかた等、広い意味での集客について研究する分野です。この講義では「持続可能な都市と集客学」について、持続可能な魅力ある都市空間の形成のために、世界遺産やクリエイティブシティ、SDGsの観点から、飛騨高山地域や国際的な事例なども参考にしながら、みなさんと一緒に考えることを目的としています。持続可能で魅力ある都市や将来の地域活性化に繋がるものはどのようなものか、一緒に考えてみましょう。

4

東京大学
宇宙線研究所

開講日 9/11 (土)

飛騨の重力波望遠鏡 KAGRA で見る宇宙

大橋 正健 (東京大学 宇宙線研究所 教授・重力波観測研究施設長)

三代 浩世希 (東京大学 宇宙線研究所 特任研究員)

①9/11 (土) 13:00 ~ 14:30 「飛騨の重力波望遠鏡 KAGRA で見る宇宙：前半」

②9/11 (土) 14:40 ~ 16:10 「飛騨の重力波望遠鏡 KAGRA で見る宇宙：後半」

重力波はアインシュタインがおよそ100年前に予言した時空のさざ波です。2015年の重力波の初検出によって、重力波天文学という新たな分野が生まれました。日本では岐阜県飛騨市神岡町に3kmのサイズのKAGRA検出器が2019年に完成し、着実に整備が進んでいます。重力波およびKAGRAがどのように宇宙を観測するかをわかりやすく解説します。

5

慶應義塾大学
Keio University

開講日 9/23 (木・祝)

商業施設の立地について考えてみよう

長田 進 (慶應義塾大学 経済学部 教授)

①9/23 (木・祝) 13:00 ~ 14:30 「商業立地についての古典的理論<中心地論>を学ぶ」

②9/23 (木・祝) 14:40 ~ 16:10 「コンビニエンスストアを事例としてその立地について考える」

大学で学ぶ学問的知見というものは、身の回りで目にする諸事象について、論理的に理解することにつながるものです。今回は商業施設の立地と分布に関して考えてみる機会とします。まず、商業施設の立地について考える時に有効な、中心地論についての理解を深めましょう。そして、理論の実証の場として、今回はコンビニエンスストアを例にとり、その立地の特徴について考えてみましょう。(学問と現実とのつながりを実感しましょう。)

申込方法

次の①②いずれかの方法でお申込みください。

電話・FAXでのお申込みはお受けできません。



①右記QRコードを読み取り、応募フォームより

②下記申込書を飛騨センターへ提出[郵送(切手貼付)][窓口]

※受講者には、各講座とも申込締切日後に「受講案内」を郵送またはメール送信いたします。

その他注意事項

- 定員に達した講座は、申込締切日前でも締め切りますのでご了承ください。
- 複数受講でも受講料等の割引はありません。
- 受講料等は各講座の初回に現金で徴収させていただきます。
- 納入いただいた受講料は原則として返還いたしかねます。
- 記入いただいた個人情報、「オープンカレッジ in 飛騨」の運営及び新型コロナウイルス感染症対策以外には使用いたしません。
- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況や、天候、講師の都合等により、日時・内容等の変更及び中止の可能性もあります。予めご了承ください。
- 必ずマスクを着用の上で受講ください。フェイスシールドやマウスシールドのみでは受講いただけません。また、体調に不安のある方は受講をお控えください。



〒506-0032 岐阜県高山市千島町900-1

TEL.0577-37-6111

休館日/毎週火曜日(祝日の場合は翌平日)

オープンカレッジ in 飛騨 2021 受講申込書 2021年 月 日

講座番号	受講を希望される講座の講座番号を右欄にご記入ください。	受講希望講座番号
1	9/4 (土)：岐阜県の鳥“ライチョウ”の生態と保全 (岐阜大学)	
2	9/4 (土)：地政学情報から見る世界と時代の潮流 (多摩大学)	
3	9/5 (日)：持続可能な都市と集客学 (東京都市大学)	
4	9/11 (土)：飛騨の重力波望遠鏡 KAGRA で見る宇宙 (東京大学宇宙線研究所)	
5	9/23 (木・祝)：商業施設の立地について考えてみよう (慶應義塾大学)	
6	9/25 (土)：健康について考える講座 (岐阜協立大学)	
7	9/25 (土)：アンチエイジング医学に学ぶ (松本大学)	
8	9/26 (日)：iPS細胞研究と再生医療の倫理 (京都大学 iPS 細胞研究所)	
9	10/9 (土)：やさしい光学実験と太陽研究の最前線 (京都大学附属天文台)	
10	10/10 (日)：SDGs 未来都市でSDGsを学ぼう (中部大学)	
11	10/23 (土)：「コロナ後の世界」を考える 世界は、日本は、そして飛騨は… (文教大学)	
12	10/24 (日)：農業における熟練技能・ノウハウについて考える (愛知大学)	
13	11/3 (水・祝)：飛騨の森の歴史と今 (岐阜大学)	
14	11/20 (土)：飛騨山脈の成り立ち 2021 (信州大学)	
15	11/20 (土)：効果的な運動と実践方法 (松本大学)	
16	11/21 (日)：未来のまちをうまく描く方法 (東京都市大学)	
17	11/21 (日)：現代日本画の内面性と表現～花鳥画体験 (名古屋芸術大学)	

ふりがな		
氏名	男・女	
	(歳)	
住所	〒	
電話番号	— —	
メールアドレス		

申込締切:各講座とも開講日の2週間前、または定員に達した場合

6



岐阜協立大学
GIFU KYORITSU UNIVERSITY

開講日 9/25 (土)

健康について考える講座

竹内 治彦 (岐阜協立大学 学長・経営学部 教授)

奥村 太志 (岐阜協立大学 看護学部 教授)

①9/25 (土) 13:00 ~ 14:30 「平均寿命と健康寿命」

②9/25 (土) 14:40 ~ 16:10 「こころの理解と支援の意味」

平均寿命は身近な言葉ですが、算出は非常に複雑な手続きをとっています。この時間は意外と知られていない平均寿命の算出方法、そして、その変化要因について、まず説明します。そして、これからの日本のために健康寿命を延伸させ、平均寿命に近づけることについて説明します。

我々はコロナ禍の中で、最大限の忍耐をもって人流抑制や感染防御に努めてきましたが、出口がまだ見えてきません。21世紀は「こころの時代」といわれていますが、重苦しい状況でのスタートになりました。この状況も踏まえて、社会や家族形態の変化に即して表面化してきた「こころの問題」について、どのような理解や支援の仕方が効果的か、精神看護の実践と研究を通して探求してきました「発達」という視点でお話ししたいと思います。

7



学校法人松商学園
松本大学

開講日 9/25 (土)

アンチエイジング医学に学ぶ

青木 雄次 (松本大学 大学院健康科学研究科 教授)

①9/25 (土) 13:00 ~ 14:30 「がん予防・健康長寿のための食習慣」

②9/25 (土) 14:40 ~ 16:10 「トピックス：老化細胞除去療法・幹細胞治療」

エイジング（加齢）による変化は避けがたいものではありませんが、科学の進歩によりアンチエイジング（抗加齢）の学術的な進展もみられています。本講座では、進歩を続けるアンチエイジング医学を参考にして、がん予防や健康長寿のために必要とされる食習慣について解説します。また、アンチエイジング医学で話題となっている老化細胞除去療法や幹細胞治療について、最近のトピックスとしてお話ししたいと思います。

8



京都大学 iPS細胞研究所
CiRA (サイラ)

開講日 9/26 (日)

iPS細胞研究と再生医療の倫理

藤田 みさお (京都大学 iPS細胞研究所上廣倫理研究部門 部門長・教授)

①9/26 (日) 13:00 ~ 14:30 「iPS細胞研究の倫理」

②9/26 (日) 14:40 ~ 16:10 「再生医療の倫理」

患者さんに iPS 細胞を届けるための研究が進んでいます。しかし、新しい科学技術には「倫理的課題」が伴います。例えば、動物の体内で人の臓器を作る研究や人工生殖細胞を作製する研究が行われています。こうした研究はどこまで認めてよいでしょうか？法の下で提供される再生医療の治療の中には、研究で証明されていないものが含まれています。こうした治療にどのように注意すべきでしょうか？皆さんと一緒に考えたいと思います。

9



京都大学
大学院理学研究科附属天文台

開講日 10/9 (土)

やさしい光学実験と太陽研究の最前線

永田 伸一 (京都大学 大学院理学研究科 助教)

①10/9 (土) 13:00 ~ 14:30 「光の性質を調べてみよう」

②10/9 (土) 14:40 ~ 16:10 「先端的観測で明らかにする太陽と地球の関係」

再利用可能なロケットの実用化や、新たな月、火星探査の計画が進められる中、宇宙での人類の活動に影響を及ぼす太陽の研究の重要性が高まってきています。高山市上宝町蔵柱にある京都大学飛騨天文台では、先端的な観測装置を駆使した太陽の研究を行っています。この講座では、簡単な光学実験を通して研究に使う装置の仕組みを学ぶと同時に、最新の観測で分かっていた太陽のすがたについて解説します。

10



中部大学

開講日 10/10 (日)

SDGs 未来都市で SDGs を学ぼう

古澤 礼太 (中部大学 国際ESD・SDGsセンター 准教授)

①10/10 (日) 13:00 ~ 14:30 「90分でわかるSDGs」

②10/10 (日) 14:40 ~ 16:10 「90分で動くSDGs」

高山市は今年の5月に、日本政府が認定する「SDGs未来都市」に選定され、SDGs先進都市の仲間入りをしました。SDGsとは、国連が2030年までに達成をめざして掲げた「持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals)」です。この講義では、「90分でわかる+動くSDGs」と題して、SDGsの本質を理解し、行動につなげる基礎的な知識と意識を醸成します。

11



文教大学

開講日 10/23 (土)

「コロナ後の世界」を考える 世界は、日本は、そして飛騨は・・・

奥田 孝晴 (文教大学 国際学部 教授)

①10/23 (土) 9:00 ~ 10:30 「コロナ・パンデミックと世界の現状
感染症と社会の変化、過去から現在へ」

②10/23 (土) 10:40 ~ 12:10 「“コロナ後の世界”をどう考えるか 現在から近未来へ」

新型コロナウイルスのパンデミックがまだ収束を見せない中、世界のあり様は今、大きな変化を迎えつつあります。国際社会から地方に至る生活現場から、「ポスト・コロナ」を見据えた進路をどう決めていくかが問われています。この講座では国際学の視点から、過去の感染症と社会変化との関係、コロナ・パンデミック下の現状をふまえ、「より善き近未来」の在り方を考えてみましょう。

12



愛知大学
AICHI UNIVERSITY

開講日 10/24 (日)

農業における熟練技能・ノウハウについて考える

藤井 吉隆 (愛知大学 地域政策学部 教授)

- ①10/24 (日) 13:00 ~ 14:30 「農業における熟練技能・ノウハウについて考える：前半」
②10/24 (日) 14:40 ~ 16:10 「農業における熟練技能・ノウハウについて考える：後半」

作物や自然を相手にする農業は、生育や気象、圃場の状況に応じた判断や作業など高度な技能・ノウハウが求められます。では、実際に、熟練農業者は、どのような技能・ノウハウを駆使して農業を行っているのでしょうか。この講座では、生産現場での事例調査を通して農業における熟練技能・ノウハウの内容と特徴を明らかにするとともに、その伝承方策について、近年、技術開発の進展が著しいスマート農業の動向にも触れながら考えます。

13



岐阜大学
GIFU UNIVERSITY

開講日 11/3 (水・祝)

飛騨の森の歴史と今

大塚 俊之 (岐阜大学 流域圏科学研究センター 教授)

- ①11/3 (水・祝) 13:00 ~ 14:30 「飛騨の森の歴史 縄文時代からの人間利用の歴史」
②11/3 (水・祝) 14:40 ~ 16:10 「飛騨の森の機能 どのくらいCO2を吸収しているのか」

今では人々が気にかけることが少ない飛騨の森(飛騨だけではなく)は、実は縄文時代からずっと人間に利用されてきました。森は、人間にとってほんのつい最近まで最も重要な資源だったのです。岐阜大学・流域圏科学研究センターでは、小八賀川流域にある、乗鞍岳中腹のスギ林や落葉広葉樹林において、20年以上にわたって森林の構造や機能についての研究を行ってきました。森林の機能の一つとしてのCO2の吸収量にも人間による利用が大きく影響しています。縄文時代からの森林利用の歴史と、現在の森のCO2吸収の役割について解説します。

14

信州大学

開講日 11/20 (土)

飛騨山脈の成り立ち 2021

原山 智 (信州大学 理学部 特任教授)

- ①11/20 (土) 13:00 ~ 14:30 「大河川流路変更の歴史 - 飛騨川、宮川、梓川」
②11/20 (土) 14:40 ~ 16:10 「世界一若い花崗岩と飛騨山脈の急速隆起」

飛騨の地から望む北ノ俣岳、黒部五郎岳、笠ヶ岳、槍穂高連峰、乗鞍岳、御嶽山。この大パノラマは飛騨の宝ですが、太古の昔から存在したわけではありません。その壮絶とも云うべき300万年間の成り立ちの歴史を、45年間追求してきた研究成果をもとにお話ししたいと思います。参加された方は、飛騨の地によくぞ生まれたと誇りをもたれることと思います。

15



学校法人松本学園

松本大学

開講日 11/20 (土)

効果的な運動と実践方法

近藤 壮太 (松本大学 地域健康支援ステーション 専門員)

- ①11/20 (土) 13:00 ~ 14:30 「座学形式/なぜ運動が必要なのか。効果的な運動とは?」
②11/20 (土) 14:40 ~ 16:10 「実技形式/実際に身体を動かそう!適切な歩き方と簡単筋トレ」

運動不足などの身体活動量の低下は、生活習慣病や関節痛などの身体の不調につながり、寝たきりのリスクを高める深刻な問題です。いつまでも健康でいるために運動は欠かせないものですが、“やり方”によっては効果を感じにくかったり、身体を痛めてしまったりすることもあります。本講座では、運動の必要性を学ぶとともに、安全かつ効果的な運動方法について実技指導を踏まえ紹介します。

※ジャージでなくても構いませんが、動きやすく運動のできる格好でお越しください。

16



東京都市大学
TOKYO CITY UNIVERSITY

開講日 11/21 (日)

未来のまちをうまく描く方法

西山 敏樹 (東京都市大学 都市生活学部 准教授)

- ①11/21 (日) 13:00 ~ 14:30 「スペキュラティブ・デザインの考え方 (講義)」
②11/21 (日) 14:40 ~ 16:10 「2050年のより良い高山を考える (演習)」

我々が生活を送る以上、まちの将来を考えないわけにはいきません。まちを未来に向けてより良くしていく為には、広い視座から未来の選択肢をくまなく洗い出して、未来シナリオへの具体的な対応策を考えていく必要があります。その一連の方法としてイギリス由来のスペキュラティブ・デザイン手法(思案的に未来を描く方法)があり、近年注目されています。この講座では、スペキュラティブ・デザインの基礎を学び、ワークをして未来の描き方を体得します。

17



名古屋芸術大学
NAGOYA UNIVERSITY OF THE ARTS

開講日 11/21 (日) ※受講料の他に画材費 500 円が必要

現代日本画の内面性と表現～花鳥画体験

長谷川 喜久 (名古屋芸術大学 芸術学部 教授)

- ①11/21 (日) 13:00 ~ 14:30 「現代日本画の内面性と表現」
②11/21 (日) 14:40 ~ 16:10 「花鳥画体験」

今回の講義では様々な絵画形態との融合や影響を繰り返し熟成してきた現代日本画というジャンルについて作品画像を見ながら作者の思いや技法について解説をいたします。後半にはワークショップ「花鳥画体験」も準備していますので絵を描く方、絵画鑑賞が好きな方どちらにも楽しんでいただけます。この講座の後には、ひょっとしたら受講された皆さんの絵の見方が変わるかもしれません!当日描いた作品は、ご自宅などでぜひ飾ってみてください。